

平成27年度 男女共同参画ふくしまプラン事業実施計画

基本目標 I 男女共同参画の意識づくり

(表示方法)

・ 新規事業 — 継続事業

施策の方向性 1 男女共同参画意識の醸成

○ 単年度事業

基本的施策 (1) 男女共同参画の理解を促す広報・啓発活動

施策	事業名	事業の内容	参加対象	参加人員 (人)	実施時期	実施場所	予算額 (千円)	年次計画			所管課	
								27	28	29		
① 男女平等、男女共同参画を推進するための法律、制度についての周知徹底	ア 法令等の周知	○ 女性の権利に関連する国内法令等をだれもが理解しやすい形で広報するなど、その内容の周知に努める。	市民		通年	男女共同参画センター				→	男女共同参画センター	
② 差別や権利侵害に対する相談窓口や救済機関等の情報提供	ア 相談窓口等の情報提供	○ 権利が侵害された場合の相談窓口や救済機関等の情報提供に努める。	市民		通年					→		
③ メディア・リテラシーの向上のための支援活動の推進	ア 啓発事業	○ 講座等により、情報そのものを主体的に収集、判断できる能力の育成に努める。 ・ 男女共生講座	市民		11月	男女共同参画センター	52				→	
		○ メディア・リテラシーについて周知する。	市民		通年						→	
④ ガイドラインの周知	ア 啓発事業	○ 男女共同参画の視点から、市で作成する刊行物において、性別にとらわれない男女の多様なイメージを積極的に取り入れるため、策定したガイドラインを周知する。	市職員		通年					→		

施策	事業名	事業の内容	参加対象	参加人員 (人)	実施時期	実施場所	予算額 (千円)	年次計画			所管課
								27	28	29	
④ ガイドラインの周知	ア 啓発事業	○市の刊行物に関するガイドラインを民間等に広く周知するため、関係機関と連携し啓発を行う。	市民		通年						男女共同参画センター
⑤ 地域の環境浄化	ア 啓発事業	○学校、家庭、地域社会が有害環境浄化活動を推進するなど、青少年を取り巻く地域環境を浄化するための啓発活動を推進する。	補導委員	135	通年	市内	4,322				生活課
	イ 青少年健全育成推進会議	○各地区の活動により、青少年の健全育成を推進する。	市民		通年	市内	7,814				生活課

基本目標 I 男女共同参画の意識づくり

(表示方法)

・ 新規事業 — 継続事業

施策の方向性 1 男女共同参画意識の醸成

○ 単年度事業

基本的施策 (2) 性別による固定的な役割分担を反映した社会制度や慣行の見直し

施策	事業名	事業の内容	参加対象	参加人員 (人)	実施時期	実施場所	予算額 (千円)	年次計画			所管課	
								27	28	29		
① 男女共同参画に関する認識を深めるための広報・啓発	ア 啓発事業	○ 職場、家庭、地域等あらゆる分野における慣習・慣行について、性別の偏りにつながるおそれのあるものについて、広くその見直しを呼びかける。 ・ 男女共同参画週間（6月23日～29日）に合わせポスター等による啓発の実施。	市民		6月	男女共同参画センター					男女共同参画センター	
	イ 情報の収集と提供	○ 男女共同参画に関する認識を深めるための情報を収集し、提供する。	市民		通年	男女共同参画センター	87					
		○ 女性のおかれた状況を客観的に把握できる統計情報を収集し、提供する。	市民		通年	男女共同参画センター						
	ウ 市政情報提供の充実と強化	○ 市政だよりや新聞、ラジオ、テレビ、携帯電話、インターネットなどを活用するとともに、広報情報制度等により、市民の意見聴取の場をつくりながら、親しみやすく、誰もが分かりやすい市政情報の充実に努める。	市民等		通年		171,750					広報広聴課

基本目標 I 男女共同参画の意識づくり

(表示方法)

・ 新規事業 — 継続事業

施策の方向性 2 男女共同参画の視点に立った教育・学習の推進

○ 単年度事業

基本的施策 (1) 男女共同参画の視点に立った家庭教育支援の充実

施策	事業名	事業の内容	参加対象	参加人員 (人)	実施時期	実施場所	予算額 (千円)	年次計画			所管課
								27	28	29	
① 意識改革をめざす啓発活動の推進	ア 情報紙の発行	○ 男女共同参画について理解を深めてもらうため、男女の市民参画による情報紙を発行する。 ・ 男女共同参画情報紙「しのぶぴあ」38号の発行	市民		3月	市政だより 全戸配布	912				男女共同参画 センター
	イ 情報の収集と提供	○ 男女共同参画に関する情報を収集し、多様な情報を提供する。	市民		通年	男女共同参画センター	(87)				
	ウ 講演会、講座等の開催	○ 男女共同参画の視点を踏まえたテーマによる講演会等を開催し、広く市民の関心と理解を高める。 ・ 男女共生セミナー ・ トップセミナー	市民 事業主等	約450 約200	11月 12月	福島テルサ アオウゼ	1,000 432				
	エ メッセージ作品募集事業	○ 男女共同参画意識の醸成のため、メッセージ作品の募集・表彰を行う。	市民	約1,000	4月～7月	男女共同参画センター アオウゼ	320				
② 多様な学習機会の提供	ア 活動の場の提供	○ 男女共同参画を進める団体、グループ等に活動の場と機会を提供し、活動が充実するよう支援する。	センター使用団体等		通年	男女共同参画センター	12				

施策	事業名	事業の内容	参加対象	参加人員 (人)	実施時期	実施場所	予算額 (千円)	年次計画			所管課
								27	28	29	
② 多様な学習機会の提供	イ 家庭教育学級・講座の開催	○男女共同参画の視点に立った家庭教育が行われるよう学習内容の充実や、開催日時等を工夫し、働く女性や男性を含めた参加者の拡大を図る。 ・家庭教育学級、講座の充実	成人男女		通年	各学習センター	2,457				生涯学習課
	ウ 語り合いネットワーク推進事業	○学校、PTA主催の男女共同参画の視点に立った子育てに関する学習に対し情報を提供するとともに、講師を派遣し支援する。	PTA会員等	約20団体	5月～3月	幼稚園 小学校 中学校	137				
	エ ヤングカレッジ・少年教室の開催	○青少年を対象にした学級等において、男女平等観に立脚した内容を取り入れる。 ・ヤングカレッジ ・少年教室	青年男女 小・中学生		通年	各学習センター	2,090 3,222				
	オ すまいるあっぷ福島運動あそび	○運動遊びの体験を通して、親子、家族のスキンシップを高め、福島での健やかな子育て・子育てと家庭教育支援を図る。	3歳～小学3年生の親子 指導者	40組 80(名) 40名	年8回	各地域体育館	250				
③ 相談体制の充実	ア 男女共同参画に関する相談事業	○男女共同参画に関する諸問題について関係機関と連携を取り、電話や来所による相談の場の提供を行う。	市民		通年	男女共同参画センター					男女共同参画センター
	イ すこやかテレホン相談事業	○青少年及び保護者の悩み事などの電話相談を行う。	青少年等		通年	青少年センター	1,518				生活課
	ウ 家庭教育相談事業の充実	○幼児、小学生、中学生の保護者の家庭生活や教育上の諸問題について、電話や来館による随時相談の対応を行う。	市民		通年	各学習センター					生涯学習課

基本目標 I 男女共同参画の意識づくり

(表示方法)

・ 新規事業 — 継続事業

施策の方向性 2 男女共同参画の視点に立った教育・学習の推進

○ 単年度事業

基本的施策 (2) 男女共同参画の視点に立った学校教育の推進

施策	事業名	事業の内容	参加対象	参加人員 (人)	実施時期	実施場所	予算額 (千円)	年次計画			所管課
								27	28	29	
① 男女平等の意識に 立つ学習指導の充 実	ア 教科指導の充実	○教師、児童・生徒のかかわりを 大切に、男女協力による学習指 導の実践に努める。	小・中・特別 支援学校教員	1,400	通年	各小・中 特別支援 学校				→	学 校 教 育 課
	イ 道徳教育の充実	○男女の信頼、協力、人権尊重を 大切に道徳教育の実践に努 める。	小・中・特別 支援学校教員	1,400	通年	各小・中 特別支援 学校				→	
	ウ 特別活動の充実	○男女の共同、相互理解を深める 特別活動の実践に努める。	小・中・特別 支援学校教員	1,400	通年	各小・中 特別支援 学校				→	
	エ 総合的な学習の時間 の充実	○男女共同による「生きる力」を 育む総合的な学習の時間の実 践に努める。	小・中・特別 支援学校教員	1,400	通年	各小・中 特別支援 学校				→	
② 教科、領域等にお ける人権教育の充 実	ア 教科における人権教 育の充実	○保健体育科、技術・家庭科等の 学習を通して、男女の相互理 解、思いやり等、人権尊重、男 女平等の精神を養う。	小・中・特別 支援学校教員	1,400	通年	各小・中 特別支援 学校				→	学 校 教 育 課 保 健 体 育 課
	イ 道徳、特別活動、総 合的な学習の時間 における人権教育の充 実	○道徳、特別活動、総合的な学習 の時間での指導を通して、人権 尊重、男女平等の精神を養う。	小・中・特別 支援学校教員	1,400	通年	各小・中 特別支援 学校				→	学 校 教 育 課

施策	事業名	事業の内容	参加対象	参加人員 (人)	実施時期	実施場所	予算額 (千円)	年次計画			所管課	
								27	28	29		
③ 性別にとらわれない進路指導や生徒指導の充実	ア キャリア教育の充実	○学校教育全体を通して、系統的な進路指導の展開に努め、性別にとらわれない職業意識の拡充を図る。	小・中・特別支援学校教員	1,400	通年	各小・中特別支援学校				→	学校教育課	
		○小・中学校における連続した児童・生徒の育ちを見取り、職業観の育成に努める。	小・中・特別支援学校教員	1,400	通年	各小・中特別支援学校				→		
	イ 教育相談の充実	○性に関する指導や交友関係等きめ細やかな相談体制の確立と指導の充実を図る。	小・中・特別支援学校教員	1,400	通年	各小・中特別支援学校				→		
④ 学校生活全般における男女共同の具体的な推進	ア 男女共同意識に立つ学校生活の充実	○男女共同による責任ある行動がとれる子どもの育成を目指す指導の充実を図る。	小・中・特別支援学校教員	1,400	通年	各小・中特別支援学校				→	学校教育課	
	イ ボランティア教育の推進	○男女共同意識とともに、ノーマライゼーション意識を育む特別活動や総合的な学習の時間等でのボランティア活動の充実を図る。	小・中・特別支援学校教員	1,400	通年	各小・中特別支援学校				→		
	ウ 家庭への啓発	○男女共同意識、性教育等について家庭への啓発に努める。	小・中・特別支援学校教員	1,400	通年	各小・中特別支援学校				→		
⑤ 教職員研修における男女共同の推進	ア 子育て支援職員等の研修	○職員研修により男女平等意識の高揚に努めるとともに、子育て支援に関わる職員等の資質向上を図る。	市内の子育て支援に関わる職員等	250	2月	未定	12				→	子育て支援課
	イ 校内研修の充実	○校内研修により教職員の男女共同意識の高揚に努める。	小・中・特別支援学校教員	1,400	通年	各小・中特別支援学校				→	学校教育課	
	ウ 校内組織の充実	○男女共同参画意識を高める校内組織の充実と活性化を図る。	小・中・特別支援学校教員	1,400	通年	各小・中特別支援学校				→		

基本目標 I 男女共同参画の意識づくり

(表示方法)

・ 新規事業 — 継続事業

施策の方向性 2 男女共同参画の視点に立った教育・学習の推進

○ 単年度事業

基本的施策 (3) 男女共同参画の視点に立った生涯学習の推進

施策	事業名	事業の内容	参加対象	参加人員 (人)	実施時期	実施場所	予算額 (千円)	年次計画			所管課
								27	28	29	
① 各種研修会における男女共同参画教育の推進	ア 男女共同参画講座、女性講座等の開催	○働く女性や男性のため、開催日時等の工夫を行うなど、学級、講座等の学習機会の提供を図るとともに、男女共同参画の視点に立った学習内容を取り入れる。 ・ 男女共生講座等 ・ 女性学級、女性講座等の充実 ・ 女性大学講座	市民 成人女性他 成人女性他	100	6月～3月 通年 10月～11月	男女共同参画センター 各学習センター アオウゼ	(52) 2,523 44				男女共同参画センター 生涯学習課
② 男性の地域生活、家庭生活を支援する学習機会の提供	ア 男女共同参画出前講座の開催	○関係機関と連携し周知を図り、地域等で開催する男女共同参画に関する学習会へ講師を派遣する。	市民		通年		37				男女共同参画センター
	イ 成人対象の学級、講座等の開催	○学習センターの土日開館により、開催日時を工夫し、男性の参加を呼びかけていく。 ・ 市民学校等 ・ 高齢者学級	成人男女		通年	各学習センター	2,703 1,686				生涯学習課

施策	事業名	事業の内容	参加対象	参加人員 (人)	実施時期	実施場所	予算額 (千円)	年次計画			所管課
								27	28	29	
② 男性の地域生活、家庭生活を支援する学習機会の提供	ウ 家庭教育学級、講座等の開催	○学習センターの土日開館により、開催日時を工夫し、男性の参加を呼びかけていく。	子ども持つ親		通年	各学習センター	2,457			→	生涯学習課
③ 職場内研修への支援	ア 男女共同参画出前講座の開催	○男女共同参画について理解を深めてもらうため、関係機関と連携し周知を図り、企業が行う研修会へ講師等を派遣する。	事業所等		通年		(37)			→	男女共同参画センター
	イ 啓発資料の作成	○男女共同参画を推進するための資料を作成し配布する。	市民		通年					→	
④ 社会教育指導者の男女共同参画研修	ア 各種リーダー研修会	○女性学級や女性団体等の各種リーダー研修会に、男女共同参画の視点に立った学習内容を取り入れる。 ・女性学級リーダー研修会 ・女性学級交歓懇談会 ・生涯学習関係担当職員研修	女性学級生 成人女性 女性学級生 社会教育関係担当職員		9月	県内	17			→	生涯学習課
					10月						
					通年		71				
⑤ 社会教育施設の整備	ア 学習センターの整備拡充	○学習センターの整備拡充に努める。 ・学習センターの維持管理			通年	各学習センター	185,881			→	